“クボタショック”から18年

アスベスト被害の救済と根絶をめざす

尼崎集会に参加しましょう！

日 時：7月2日（日）午後1時～4時

場 所：尼崎市中小企業センター

阪神尼崎駅北東すぐ　電話 06-6488-9501

参加150名 無料

18年前の2005年6月29日、30日—クボタは79名に及ぶ自社・関連企業アスベスト被害の死亡労働者数を明らかにし、また、30日には今は亡き3人の患者が、周辺住民被害者としてクボタから見舞金を受取ったことを、患者と家族の会や支援団体と共に明らかにしました。**(公害としてのアスベスト被害)**

このクボタショックによって、まさに関心の遠のいていた日本のアスベスト被害の実態が一気に人々の目にさらされることになりました。

写真展は
6月23日(金)～25日(日)
ギャラリーアルカイック
AM10時～PM4時

◎尼崎市アスベスト検診について

◎クボタ周辺被害の現状と石綿救済法

◎患者・家族、遺族からの報告（旧神崎工場、建設現場、生活・・）

◎ **特別報告 1**「中皮腫とがん免疫チェックポイント阻害剤」

藤本　伸一 先生（岡山労災病院・腫瘍内科）

◎ **特別報告 2**「アスベストを見分けられたらうれしいね！」

榊原　洋子 先生（愛知教育大・健康支援センター）

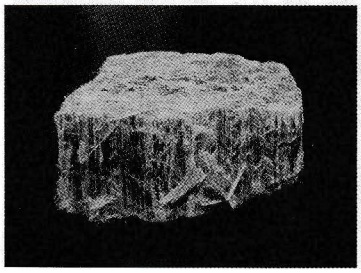
★音楽（「空をゆくつばめ」）と落語（壽　文寿 師匠）の時間も

主　催：アスベスト患者と家族の会 連絡会　尼崎・東海支部／尼崎労働者安全衛生センター
後　援：尼崎市

お問い合わせは…TEL・FAX06-4950-6653 尼崎安全センターまで
メール　a4p8bv@bma.biglobe.ne.jp

アスベスト全面禁止

平成 18 年 9 月 1 日より、石綿および石綿をその重量の 0.1%を超えて含有する
全ての物の製造、輸入、譲渡、提供、使用が禁止されています。
禁止が猶予されていた 3 製品が平成 23 年 3 月 1 日以降、全面禁止になります（裏面参照）。



石綿の種類

石綿とは、天然に産出する繊維状鉱物で、下記の種類があります。

- ●蛇紋石系石綿　クリソタイル（白石綿）
- ●角せん石系石綿　クロシドライト（青石綿）、アモサイト（茶石綿）、アンソフィライト、トレモライト、アクチノライト

（厚労省作成チラシより）

クボタへの周辺被害請求数

（2023年6月15日　現在）

年	請求　累計数（人）	前年増（人）
2005～06年	114	―
2006～07年	156	+42
2007～08年	178	+22
2008～09年	201	+23
2009～10年	221	+20
2010～11年	242	+21
2011～12年	257	+15
2012～13年	270	+13
2013～14年	286	+16
2014～15年	298	+12
2015～16年	312	+14
2016～17年	325	+13
2017～18年	339	+14
2018～19年	355	+16
2019～20年	369	+14
2020～21年	386	+17
2021～22年	398	+12
2022～23年	集計中	

（患者と家族の会　連絡会）

昭和47年10月1日～平成16年9月30日の間に建設現場で石綿にばく露し、石綿関連の疾病を発症された労働者、一人親方やそのご遺族の皆様へ

～建設アスベスト給付金制度が創設されました～
一定の要件を満たす場合には、給付金等が支給されます。

中小事業主も対象になります。労災と救済法「特別遺族給付金」認定ずみの方は、ひとまず「労災支給決定等情報提供サービス」のご利用を。（厚労省問い合わせ先　0570 ― 006031）

石綿（アスベスト）工場の元労働者やその遺族の方々に対する和解手続による賠償金のお支払いについて

石綿（アスベスト）工場の元労働者やその遺族の方々が、国に対して訴訟を提起し、一定の要件を満たすことが確認された場合には、国は、訴訟の中で和解手続を進め、損害賠償金をお支払いします。

（厚労省作成チラシより）

平田忠男 前患者と家族の会 会長

「私たち当事者が声を上げないと、悲惨な公害をなかったことにされる。風化させないためには私たちが動かなければならないという思いで活動を続けてきた。私たち一人ひとりの力は弱いが、志を一緒にする皆さんと、これからの若い人たちのためにもアスベストの危険性を訴えていきたい」（2021年2月17日死去、77才）

1951年3月生まれの塩見幸治さん（元尼崎市議）。アスベストによる中皮腫で肺を全摘手術。2017年12月没、66才。「この問題は『公害』であるというように受け止めていかないと、基本的な、根本的な解決には結びつかない」「生きることは生活すること…そこの支えなくして療養ができるはずはありません」。（『尼りかん』No.54）

クボタショック17年の集会では、神崎工場内の仕事、家族の複数被害などが報告された。稲村和美尼崎市長も出席。（現在は松本眞市長。市は環境省へ緊急要望を提出している）

★どんなにアスベストの悲惨な被害があっても、それをしっかり記録して伝えていかなければ、被害はなかったことにされてしまうのです。それを許さないために会報『尼りかん』『未来と安心』は、患者・家族、遺族の声や国・自治体、企業とのやりとりを伝えています。★